

J A岩手ふるさとピーマン栽培管理指導会補足資料

令和6年7月22日－29日

東北地方 1か月予報(07/20~08/19)		
2024年07月18日14時30分 仙台管区气象台 発表		
特に注意を要する事項	期間の前半は、気温がかなり高くなる見込みです。	
向こう1か月 07/20~08/19	天候	東北太平洋側では、期間の前半は、平年と同様に曇りや雨の日が多いでしょう。期間の後半は、天気は数日の周期で変わるでしょう。
	気温	平均気温は、高い確率80%です。
	降水量	降水量は、平年並または多い確率ともに40%です。

共通

- 高温多湿条件が続いております。ダコニール1000やカスミンボルドーを散布しましょう。
- 今後、多くの果実を肥大させる必要があります。追肥は間隔を狭くするか、倍率を濃くしましょう。
- 内枝は、果実2つを目安に除去しましょう。株全体の勢いを停滞させます。また、実は収穫時は緑でも、収穫後急激に赤くなります。勿体ないという意識はなくしましょう。
- ひび割れ果は出荷しないようにしましょう。
- 30℃を越すような日は、pFメータの値にかかわらず、積極的にかん水しましょう。

ハウス

- 実は溜めずに、30gを中心に回転よく収穫しましょう。
- 曇天でも気温が高い予報なので、積極的にかん水しましょう。
- 主枝摘芯は、主枝に実が成り込んでいるタイミングで行うと下から側枝が出やすくなります。また、誘引糸を緩めU字にした上で摘芯を行うと効果的です。
- 下葉は摘葉しましょう。

露地

- 軟腐病対策として、タバコガ防除を行いましょう。
- 株を上から見て、中心部を空かしましょう。また、よく見ると花も実もついていない枝があるので、折り取りましょう。
- たれ枝が出ないように、早めに誘引しましょう。

連絡事項

- ・今年度取り組み予定としてお伝えしていたS玉規格での出荷は、実施いたしません。
→高温障害による肥大遅れへの対策でしたが、いま現在までの肥大が速いため実施を見送ります。今後実施の必要がある場合は、お知らせいたします。
- ・昨年度まで実施していた胆沢ピーマン選果場での日曜日荷受けについて、8月は未定となっております。決定次第、集荷日程表にて周知いたします。
- ・トロケ果（軟腐病）の発生要因のうち、大部分はタバコガによる食害と位置づけております。さらに今年のような気温が高い年度は、タバコガの発生が多くなります。タバコガの食害がない時期は、次の世代の卵が果実についていることが多く、35℃の条件の場合、産卵から1週間以内に食害を行うことを確認しております。食害がない時期でも安心せずに防除を行いましょう。
- ・炭疽病が発生しております。東北地方ではあまり確認の出来ない病気でしたが、気温の上昇とともに発生が多くなってきました。薬剤は、ダコニール1000やシグナムWDG2，000倍などを散布しましょう。また、発生した果実は圃場外で処理し、排水不良圃場では明きょを掘るなどで対策しましょう。

